

# 迫真のスタントで「怖さ」知る

## 協和中で「自転車交通安全教室」



協和中で行われた「自転車交通安全教室」

反が原因で起こりうる事故について説明し、実際に自動車と自転車

の衝突、自転車の一時「衝突で自転車が飛んどの音が聞かれた。中不停止による衝突、大だことに驚いた。友達村校長は「ルールをき型トラックの内輪差にと並列走行してしまうちゃんと守り、自分の命よる巻き込み事故などこともあったので今は自分で守るという意味を再現実した。場を再現した。参加した生徒からは「自転車の左側通行を徹底えれば」と話していた、と思います」な

### 「自分の命は自分で守る」

足利市農業協同組合(増田高組合長)とJ△共済連栃木、栃木県警本部、足利警察署が主催した「自転車交通安全教室」が11月2

日、市立協和中学校(中

村徳幸校長、生徒47

8人)で行われた。生

徒たちはスタントマン

が再現する危険な自転

車走行による交通事故

を見て、交通ルールや

マナーを守ることの大

切さを学んだ。

同教室はJ△共済

が、日常生活で自転車

の利用頻度が高い中高

生に交通事故の危険性

を理解してもらうこと

を目的に開催している

もの。

学習者に「怖さ」を

与えることで社会通念

を上望ましくない行為を

自主的に行わせないよ

うにするスケアード・

ストレイト教育技法を

活用して実施してお

り、県内では2009

年から開始。今回で37

回目を迎えた。

同教室はJ△共済

が、日常生活で自転車

の利用頻度が高い中高

生に交通事故の危険性

を理解してもらうこと

を目的に開催している

教室ではスタントマンがルール、マナー違